

EM菌活用商品が人気

微生物の働きで水質浄化効果

①培養液を手にする利用者と職員(どんぐりの家が製造、販売している看板商品「ぼかし」など)=大分市牧

どんぐりの家は社会福祉法人「檸の木」が1997年に設立。EM菌は当初から商品に活用してきた。障害のある20~70代の利用者30人が就労の契約を結び、計量や発酵、乾燥、袋詰めなどを担っている。

「製造の工程が多く、全ての利用者が関わるのが魅力」と管理者の広石嘉智さん(45)。利用者は「自分で必要とされないと実感できる」「毎日仕事があり、仲間がいて楽しい」と明るく作業に当たっている。

どんぐりの家は社会福祉法人「檸の木」が1997年に設立。EM菌は当初から商品に活用してきた。障害のある20~70代の利用者30人が就労の契約を結び、計量や発酵、乾燥、袋詰めなどを担っている。

【大分】大分市牧の障害福祉サービス事業所「どんぐりの家」の利用者が、微生物の働きで水質を浄化させる効果があるとされるEM菌(有用微生物群)を使った商品作りに取り組んでいる。就労の機会を確保しようと20年以上前から始め現在は肥料や培養液など6種類を製造。市内の直売所などで販売している。「環境に優しい商品を使ってほしい」とアピールしている。



大分市の障害者ら 肥料など6種類販売

事業所によると、看板商品の「ぼかし」(300ml、税込み110円)は生ごみに振りかけると、微生物の働きによって2ヶ月ほどで肥料に再生する。台所の排水管のぬめりを分解し、消臭効果があるという「活性培養液」(500mlリットル、同220円)も人気を集めている。

川の駅松岡(同市松岡)

など市内9カ所で販売。毎年春に同市の平和市民公園で開かれる「おおいた人とみどりふれあいいち」にも出店し、農家や家庭菜園の愛好者らが常連客になっている。

技術指導を担当するNPO法人地球環境・共生ネットワーク(東京)の大分県会話人、浅野盛司さん(70)は「同市坂ノ市中央」は「安く販売しているので、ぜひ手にとってほしい」と呼び掛けている。

問い合わせばんぐりの家(097-553-5335)。(坂本陽子)